

## 資料8

評価項目	8 業務の情報発信に関すること
当センターの状況 (概要)	<p>(1) 情報発信状況 (対象、内容、方法)</p> <p>情報発信状況について、インターネットを利用した情報発信として、メールマガジンとホームページで定期的に情報発信を行っている。また、夏休み子ども講座や一般公開といった一般公開行事を開催し、センターの業務や科学に関心をもってもらう取り組みを行っている。このほか、施設見学依頼の対応等によって情報発信に努めている。</p> <p>なお、ホームページについて、平成25年度に県のCMS (コンテンツ・マネジメント・システム) の更新に合わせ、階層の整理を行うなど必要な情報にたどり着きやすいように改善を図った。</p> <p>① メールマガジン 平成22年7月に開始したメールマガジンは、HPや施設見学者等へ案内により、着実に会員を増やしている。</p> <p>② ホームページ ホームページは、メールマガや年報、研究員の成果報告などを掲載し、定期的に情報を蓄積している。</p> <p>③ 一般公開行事 夏休み子ども講座は、市内の小学校とHPで案内を出し、例年1週間程度で定員が埋まるほどの好評を得ている。一般公開は、工業技術センターと同日開催することで、毎年400名以上の集客がある。</p> <p>④ 施設見学依頼対応 施設見学依頼件数は、福島原発事故の影響で放射能への関心が高まったことから、放射線を測定できる当センターの認知度が高くなったこともあり、平成23年度から平成24年度にかけて倍増し、平成25年度も福島原発事故以前より件数が多かった。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A(2人)・B(4人)・C(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 情報発信状況 (対象、内容、方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの登録件数は残念ながらあまり多いとは言えません。様々な媒体を用いて情報発信に努めていただきたい。</li> <li>・情報発信は強化されており、さらに推進することが望まれる。</li> <li>・HPだけではなく、研究所から出てPRするなどの方法を検討されたい。</li> <li>・依然、県民のセンター認知度は低いと思う。紙ベース (年5回各戸配布の「いわてグラフ」) や、インターネット (県公式HPから、スッと入れるように) など、あらゆるツールを使ってPRして良いのではないか。</li> <li>・インターネットによる情報発信、夏休み子供講座、一般公開等の情報発信はよい取り組みだと評価する。情報誌を発行したことも良いが、今後の内容の充実、質的向上に期待する。</li> </ul>
センターの対応方針	<p>情報発信手段の見直しを行いながら、一般公開行事等とあわせて、県民に向けた情報発信に一層努めていきます。</p> <p>また、県民、事業者、県、市町村等のニーズの把握、研究課題の設定から成果の活用まで「見える化」を図りながら、県民にわかりやすい情報発信に努めていきます。</p>